

人の温かさ感じる大熊町で

移住者に寄り添う



## 大熊町

### 大熊町移住定住支援センター

私たちは、にぎわいのある大熊町の未来を創造することを目的とし、町民の帰還と移住者の定住促進事業に携わっています。東日本大震災による原子力災害で、大熊町は一時全町避難を経験しましたが、2019年の一部避難解除を皮切りに帰還者・移住者が徐々に増えています。そんな中、2022年6月にかつての町の中心地を含む区域の避難指示が解除されるにあたり、開設されました。



自然体験イベントの様子



チャレンジ応援プロジェクト・鉄道のお仕事&駅探検の様子

## 大熊町 大熊町移住定住支援センター

### 移住後のサポート活動について

移住された方々の交流会やチャレンジ支援など以下の取組みを行っています。\*

お話を伺ったのはこの方！

現在は、県外からの移住者2名と、隣町である富岡町出身者の、計3名で活動しています！

大熊町移住定住支援センター  
岩船 夏海さん



#### (1) 移住者交流会

2ヶ月に1回、移住された方や帰還された方々の交流会を開いています。「休日は何してる?」「どこの病院に行ってる?」など暮らしの情報交換など、気軽にしゃべりながら交流する会です。今後は例えば「ペットを飼っている人」などテーマを設けて参加者を募り、共通の趣味で盛り上げられる知り合いを増やせる場にしたいと思っています。交流会の情報は、町の移住定住ポータルサイトや、アパートや公営住宅にチラシを配布してお知らせしています。気軽に参加できるイベントなので、町の人とつながりたい方にはぜひ来ていただきたいです。

#### (2) 発見 Oh!KUMA 写真ワークショップ

こちらは大熊町出身ガイドの思い出の場所を巡り、写真撮影をするイベントです。年に4回、季節ごとに開催しており、撮影を通して町のいろんな姿を知ることができます。移住された方に限らず、写真が好きな方、大熊町と関わり続けている方など様々な方が参加しています。震災前のこの町を、町出身のガイドの思い出と共に解像度高く知ることができるのも、このイベントの魅力の一つです。また、案内してもらわなかったら足を運ばないような「こんなところあったんだ!」という穴場スポットに出会えたりもします。

#### (3) チャレンジ応援プロジェクト

移住された方を含め大熊町に住民票がある、または町内の事業所で働いている人の「やってみたい!」を応援するプロジェクトです。活動1件あたり10万円の費用支援と、企画のブラッシュアップや協力者の紹介など幅広い伴走支援を受けられます。2024年度前期は、鉄道のお仕事&駅探検、東京のエンジニアと大熊町の起業家を結ぶネットワークづくり、大熊の生き物カードゲーム『KUMA・MIKKE』というオリジナルカードゲーム開発プログラムなど、採択されたプロジェクトはバラエティに富んでいました。このように自分の好きなことを形にできるこのプロジェクトは、皆が主役になれる可能性を秘めているプロジェクトだと感じています。移住された方のチャレンジも応援します。

\* 令和6年9月取材時点

### すでに移住された方や移住を検討されている方へ

大熊町は一時全町避難になった影響で、まちづくりを1から行っている特殊な環境の町です。まちづくりへの挑戦も魅力的ですが、最大の魅力は人の温かさです。移住者・帰還者に関わらず、町中で会うと声をかけてくれたり、イベントに進んで協力してくれる人がいたり。小さいことかもしれませんが、いろんな場面でほっとするような人との交流があります。まちづくりやチャレンジをしたい人もそうでない人も。皆さんに私たちの支援を届けたいと思っています。

#### お問い合わせ

☎ 0240-23-7103 福島県 双葉郡大熊町下野上清水 307-1

✉ ijuteiju@okuma-machizukuri.or.jp



大熊町  
移住定住支援センターの  
WEBサイトはこちら!

福島県ふくしまぐらし推進課では、移住してこられた方のふくしまぐらしをより充実したものにしていたために、移住後の定着・定住支援にも力を入れています。その一環として、移住後のサポート活動を展開している各地の団体を紹介しています。

福島県移住ポータルサイト  
「ふくしまぐらし。」で  
もっと詳しく!

